

このコーナーはPDF版では掲載していません。

5Gを活用した遠隔授業が行われました

12月18日、山口県立美術館と沖浦小学校、宇部市の二俣瀬小学校の3地点を、次世代移动通信システム5Gの通信環境でつないだ遠隔文化授業「5Gアートスクール」が実施されました。

これは、5G等の活用で協定を結ぶ山口県とNTTドコモが、「雪舟600年展」の一つとして開催したもので、5Gの高速・大容量の通信特性を活用し、県立美術館から高細密な画像で送られる雪舟の絵を題材に、学芸員が双方向の授業を行いました。

各校の児童は、リアルタイムで相互の様子や声が伝わる空間の中で、題材となった絵について、お互いに気づきや考えを発表しました。

なお、5G環境のデータを活用した遠隔授業は全国で初めてのことであります。



▲高細密な画像でモニターに映し出される雪舟の絵について、気づきや考えを発表する沖浦小学校の児童。